

でんち

一般 電池工業会
社団法人 BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN

〒105-0011
東京都港区芝公園三丁目5番8号
機械振興会館内
電話 (03) 3434-0261 (代)
ホームページ <https://www.baj.or.jp/>
ご意見・お問い合わせ <https://www.baj.or.jp/contact/>
発行人 清水義正

2025年2月号

2024年度 第2回二次電池部会を開催

2025年2月6日(木)、一般社団法人電池工業会は2024年度第2回二次電池部会を機械振興会館での対面会議およびWebで開催した。冒頭でBAJ競争法コンプライアンス・ルールを遵守することを確認したのち、鈴木部会長(古河電池株式会社)、清水専務理事より挨拶があった。続いて各委員の代表より、これまでの活動報告を行った。



1. 部会長挨拶 (鈴木部会長)

工業会活動への日頃からの協力に関して感謝いたします。

今年は震災などが発生した昨年と異なり穏やかな正月を迎えられました。巳年ということで準備が実を結ぶとか金運の象徴とも言われており、さらなる二次電池部会の発展を期待しています。今年気にかかる欧州等での電池規則や環境規制に対して、企業と工業会が協力して日本が海外に負けないようにしていきたいと考えます。

2. 専務理事挨拶 (清水専務理事)

BAJとして新年の行事がありましたので報告します。1つ目は賀詞交歓会および優良従業員表彰式を1/10に実施、賀詞交換には285名の来賓を迎え、経産省等にも出席いただきほぼコロナ前の状況に戻ったと感じています。今年から優良従業員表彰18名に加え、IEC活動等に貢献をいただいた方をBAJ活動賞として5名を表彰しました。2つ目は経産省主催の蓄電池産業戦略推進会議が1/23に開催、国内150GWh、海外600GWhを実現するため国と業界が一体となり推進、工業会からは村尾会

長、只信副会長に出席頂き、各機関、企業等の活動内容報告がありました。

3つ目として2025年度の事業計画の審議。
3/7 理事会で承認を得る為に、本日の会議でしっかり内容の検討をお願い致します。

3-①. 各委員会'24年度活動報告及び'25年度事業計画案

各委員長より2024年度活動実績および'25年度事業計画案の報告がされた。

◆広報総合委員会

'24年度活動結果および'25年度事業計画案が報告された。

<主な報告>

- ・ キャンペーン・PR活動；以下3つを重点テーマとして活動を実施、①「コイン・ボタン形電池の誤飲事故防止」、②「自動車用バッテリーの定期点検、買い替え促進」、③「小型充電式電池の回収リサイクル」。
- ・ 重点テーマに対してPRキャンペーンとして「電池を正しく使いましょう」では、毎日新聞に3日継続啓発記事およびクイズを掲載、「電池川柳コンテスト」などを実施した。
- ・ PR活動；②「自動車用バッテリーの定期点検、買い替え促進」に関しては新聞広告掲載、プロ野球最優秀バッテリー賞への協力、ラジオCM、雑誌への啓発広告掲載を実施した。
- ・ イベント活動；①経済産業省“こどもデー”に初出展し多くの来場者及び好評を得た、②手作り乾電池教室16件の開催、③電池フェスタ8月開催予定であったが台風のため中止
- ・ 25年度計画としては基本的には24年度活動を継承するが、一部SNS等のデジタル媒体経由での広報活動への活用に切り替える。二次電池関連としては新聞広告、プロ野球最優秀バッテリー賞への協力、およびラジオCMは継続するが、雑誌広告については取りやめ、新たに啓発用動画コンテンツを作成し

SNS(YouTube)での配信を計画する。

◆国際環境規制総合委員会

'24年度活動結果および'25年度事業計画案が報告された。

<主な報告>

- EU包装規則が'25/1/22公布、'26/8/12から適用される、包装材への要求事項には以下のような項目が含まれる。
 - 包装材中の物質への制限、包装材のリサイクル性、プラスチック包装材中の最低リサイクル材含有率、包装の最小化、表示、リユース目標など
 - 包装規則においても適合性評価が求められる（ただしCEマーキングは要求されない）。
- ・ 南アフリカ 拡大生産者責任（EPR）改正案'24/11/7 発行、主な改正内容として、EPRスキームの一部として預かり金制度の組み込み、生産者が公表された目標達成に対して責任を負うことおよびフリーライダーを抑制するための規制の執行などである。
- ・ インド 廃電池の拡大生産者責任（EPR）における環境保証金に関するガイドラインを公布；生産者の義務となっているリサイクル目標値を達成できなかった際に課される環境保証金について、鉛電池の場合、電池の含有する鉛の重量に対して18ルピー/kgとする。また、年次報告書を締め切りまでに提出できなかった場合にも環境保証金（初犯；2万ルピーなど）が課される。
- ・ ほかに、*ブラジル、金属水銀の輸入、輸出、販売、輸送、リサイクル、使用、処分の規則を公布、*台湾環境部、セル重量1kg以上のリチウムイオン電池を回収必須電池に追加、*韓国、残留性汚染物質の種類及び特定免除に関する規定の改正、3件が報告された。
- ・ 25年度活動計画；基本的には24年度の活動計画を踏襲して継続して実施する。主

な活動として世界の電池環境規制の状況
13版 電子追補版の発行、ICBR・TWG+
への参画などである。

◆資材委員会

‘24年度活動結果および’25年度事業計画
案が報告された。

<主な報告>

- ・ アンチモン中国輸出規制の状況確認（臨時開催）；第一回部会にて報告済
- ・ 共有金型管理状況について資料に基づき報告。今年度更新計画4型、計画通り進捗中。
- ・ 25年度事業計画；25年度更新3型（MSE3000蓋、HSE2500蓋、PS600電槽）を計画、更新希望のあった6型のうちショット数等の優先順位を考慮して決定

◆自動車用鉛電池リサイクル委員会

‘24年度活動結果および’25年度事業計画
案が報告された。

<主な報告>

- ・ ‘24年度上期 SBRAリサイクルシステムの運用状況報告；資料に基づき報告された。排出事業者登録件数は12月時点で92件増。地域別では関東甲信越・近畿ブロックが増、業種別では電装店等で増加している。
- ・ ‘23年度回収量については前年比98%で若干下回る状況
- ・ 下請中小企業振興法対応として委託業者との25年度委託費について協議結果、約10.5百万円／年（約2.5%）のコストアップ見込み。
- ・ ‘24年度委託先監査については5社完了。
- ・ 不適正な解体ヤード一掃に向けた法制度面での対応；環境省主催の対応検討会において本問題に対しSBRAより廃棄物処理法で定める「有害使用済機器」の対象に廃鉛蓄電池を加えることを提案、さらに、罰則の引き上げについても提案した。

- ・ ‘25年度活動は’24年度活動を継続する。

◆二次電池技術委員会

‘24年度活動結果および’25年度事業計画
案が報告された。

<主な報告>

- ・ 各活動テーマの進捗状況については資料に基づき報告された（主な内容は以下の進捗）。
- ◆ IEC関連；60095（重要テーマで報告）、62902（ケミカル表示）2025年3月以降IS発行
- ◆ JIS関連；F 8101（船用鉛蓄電池）JISCでの審議完了、2025年3-4月改訂版発行
- ◆ SBA関連；改訂版発行下期2件（通期5件）、改正作業継続中5件。
- ◆ 国際会議関連；IECで新たにCR(Charge Recovery)を規格化する動きがあり、workshopが設立されたので日本からも協議に参画している
- ・ 重要テーマ・トピックスとして、以下が報告された。
① IEC60095-8（自動車補機用鉛蓄電池）；当初欧州中心に議論が進んでおり、欧州ではAGMが主に搭載されている背景があり、AGMのみでクライテリアが決められてしまうと、日系車が採用している液式電池が不利になる危険性があった。
そのような点を踏まえ、5月開催のIEC京都会議にてCDコメントをインプットし、結果を反映したCD2が発行(9/13)され、さらにCD2に対するコメントを自技会とも調整のうえ提出(11/8)した。その後コメントレビューが実施(11/20-21)された際にも日本から参画しCRのクライテリアについて日本が不利とならない内容に導けた。
- ・ ‘25年度についても同様にJIS、SBAの改訂年（前回改定から5年経過）に当たるもの

の改正有無の確認、必要な場合には規格改正、および IEC 規格への積極的な関与を実施する。

◆ PL 委員会

‘24 年度活動結果および’25 年度事業計画案が報告された。

<主な報告>

- ・ ‘24 年度の重点取り組み課題は①市場における爆発事故発生状況の監視及び事故防止のための啓発活動、②硫化水素発生による事故防止のための啓発活動、③『蓄電池の安全確保のための表示ガイドライン』の 2026 年改正
- ・ 爆発事故発生状況について国土交通省への定期報告 8/6、国交省からは事故縮減活動は啓発メインとなるが継続して欲しい、また件数も落ち着いてきていることから報告回数は 2 回/年を 1 回で良い、との意見をいただいた。
- ・ 事故防止の啓発活動として計画していた、① APARA イベントへの参加については、対象イベントが、BAJ からの啓発意図に適していないことで次年度参加へ見送り②爆発事故防止に関するリーフレット改正 2 件を実施。
- ・ 硫化水素発生による事故防止のための啓発活動については日本 RV 協会と連名で作成したリーフレットを RV 協会会員向けにメール配信実施、また双方の HP へのリーフレット掲載を提案中。一般ユーザーへの配布については先方内部で検討中の状況。
- ・ 「安全確保のための表示ガイドライン」2026 年度改正を検討中だが、以下 2 点に付いては早期に対応が必要と判断し本年 5/9 に追補及び改訂文書を発行した。7 版への改正は 26 年 12 月を目標として進めている。
- 硫化水素発生に関わる警告・啓発について追補；啓発を強める表記とした
- 消防法改正に伴う一部改訂書を発行；基

準となる単位が変更され Ah・セルではなく kWh へ変更

- ・ TS-004 「自動車用バッテリーの知識」24 年 3 月改正発行
- ・ 始動用鉛電池爆発件数の’24 年度上期 16 件、昨年(39 件/年)比で少し削減傾向、用途別には特異現象なし、要因別にも特異現象なく従来同様液切れによるものが多い(50%)ため、メンテナンスについての啓発活動を継続する。
- ・ ‘25 年度活動については’24 年度を継続することに加えて、産業用電池の事故防止活動への啓発を実施するかどうかの検討を進める。

◆ 産電リサイクル委員会

‘24 年度活動結果および’25 年度事業計画案が報告された。

<主な報告>

- ・ 234 号広域認定については、新規申請が認定されたことに伴い変更申請を取りやめ、廃止手続きを 3 月に予定。
- ・ エナジーウィズ社を含めた共同広域新規申請書類を環境省へ提出、10 月 28 日認定証(第 331 号)を取得できた。
- ・ 第 331 号広域認定の変更届について 12 月環境省地方局へ提出しており、内容の調整中。
- ・ 新規広域申請取得に伴ったリーフレットおよび工業会 HP 改訂については 12 月実施済み。
- ・ ‘23 年度広域回収量を環境省へ’24 年 6 月、同じく小型密閉鉛回収量を’25 年 1 月経産省へ報告済み
- ・ アルカリ蓄電池の新規処理事業者については引き続き検討しているが、目途が立っていない状況。
- ・ ‘25 年度活動計画；広域認定 331 号維持のため変更申請等の実施、アルカリ蓄電池新規処理事業者の検討継続

- ・ '24年12月までの廃鉛蓄電池回収量；広域 4,440ton(前年同月比 92%)、小型密閉 412ton(同 103%)。

◆環境委員会

'24年度活動結果および'25年度事業計画案が報告された。

<主な報告>

- ・ 欧州電池規則関連；'25年度に必要な対応について第7、13、71条、第7章、8章の各社現状を確認、その結果、全体として実施法が未提出や具体的な数値の算出方法が不明など、各社ともに対応が滞ってしまっていることが共有化できた。
- ・ SDSガイドライン改訂の再検討；経産省HPに掲載されているSDS制度に関するQ&Aの記載内容が一部改正されていることを確認、SDSガイドラインの記載内容と不一致となることから、経産省HPのQ&A内容に合わせSDSガイドラインの改訂を実施した。ガイドライン本文及び電解液のSDSひな型を改訂し第6版として発行する。
- ・ '25年度活動計画；'24年度活動と同様の活動を継続する

3-②. 審議事項

- 1) 2025年二次電池部会事業計画・予算案について
事務局より内容報告し、部会委員からの質問、異議なく承認された。
- 2) 二次電池部会 部会長 改選の件
部会長 FB 鈴木⇒EW 遠山
副部会長 EW 遠山⇒GY 澁谷
異議なく承認された。

4. 事務局報告・連絡、その他

- ・ 次回開催予定（確定）

2025年 10月9日（木） 13:30～
web会議

- ・ 次々回開催予定（予定）
2026年2月12日（木）

13:30～ 機械振興会館会議室（仮決め）

以上

第 114 回 二次電池第 2 部会を開催

2025 年 2 月 7 日（金）、浅利部会長（パナソニック）を議長に第 114 回二次電池第 2 部会を機械振興会館での対面会議および Web で開催した。開会に際して、事務局より BAJ 競争法コンプライアンス・ルールを遵守することが確認されたのち、浅利部会長ならびに清水専務理事の挨拶があった。続いて前回議事録の確認後、各委員会の代表者より、これまでの活動報告を行った。



1. 部会長挨拶

トランプ第二次政権が始まり矢継ぎ早に大統領令が発令され、関税も各国における状況が都度変化しており、また、中国では資源の輸出管理など、電池工業会としてさまざまな変化に対応していきたいと考えています。

2. 専務理事挨拶

二次電池部会と同じ内容で挨拶

3. 各委員会報告

各委員会より 2024 年度事業報告、2025 年度

事業計画が説明された。

◆技術委員会

1. 各分科会報告

<リチウム二次分科会>

【事業報告】IEC62133-2(ポータブル機器用リチウム二次電池安全) CD2 審議。

【事業計画】IEC62133-2 改訂継続審議、IEC 61960-3(ポータブル機器用リチウム二次電池性能) AMD 審議、電動アシスト自転車用 LIB の安全規格審議。

<LIB 安全性技術 WG>

【事業報告】JARI で対応している IEC62660-3(自動車用 LIB 安全)の強制内部短絡代替試験のパラメーターを確認中。代替試験も継続検証。

【事業計画】JARI の電池セル SWG にオブザーバー参加して、強制内部短絡代替試験情報収集、リチウム二次分科会へ情報共有。LIB の安全性技術に関わる資料のアーカイブ化。

<据置 LIB 分科会>

【事業報告】IEC62620 Ed2(産業用リチウム二次電池性能) CD 対応、IEC62933-5-4(LIB ベース ESS 安全) CDV 対応。

【事業計画】産業用 LIB、蓄電池システム等の IEC 規格審議、船舶用規格支援、TC120との連携等継続。

<非駆動用車載 LIB 分科会>

【事業報告】四輪自技会補機 LIB WG に参加して、JASO-TP の技術要件標準化に協力。

【事業計画】JASO-TP 作成に継続して協力。

<ニカド・ニッケル水素分科会>

【事業報告】IEC 61951-1(ポータブル機器用途 Ni-Cd 電池性能)/IEC 61951-2(ポータブル機器用途 NiMH 電池性能) Ed5 CD 合意。IEC 62133-1(ポータブル機器用途 Ni 系二次電池安全) Ed2 FDIS 移行承認。

【事業計画】IEC 61951-1/IEC 61951-2 Ed5 FDIS 発行予定。IEC 62133-1 Ed2 IS 発行予定。

<産業用ニッケル水素分科会>

【事業報告】IEC 63115-1 Ed2(産業用 Ni-MH 性能)改訂、IEC63115-2 Ed2(産業用 Ni-MH 安全)改訂ともに CD 発行待ち。

・事業計画：IEC 63115-1/IEC 63115-2 Ed2 継続対応。IEC 62675 Ed2(密閉型 Ni-MH 角形単電池)改訂動向監視。

<PSE WG>

【事業報告】消費生活用製品安全法等の一部を改正する法律の省令が1月31日公布され、詳細確認実施。別表第十二への一本化の移行措置が12/27 終了。

・事業計画：電気用品安全法への継続対応。

<蓄電システム WG>

【事業報告】国交省の各電気設備工事編の改定審議終了。

・事業計画：国交省の建築設備計画基準、建築設備設計基準令和6年度版改定対応。

<リユース規格分科会>

【事業報告】BAJ HP 二次電池の再利用についての改訂検討、関係団体に内容確認後、BAJ HP 更新予定。JARI IEC63330(リパーパス製品規格)に適宜対応。

【事業計画】JARI IEC63330 に継続対応。TC120 WG2 動向確認。二次電池再利用に関する問合せ対応。

<CFP 規格分科会>

【事業報告】IEC 63369-1 Ed1(産業用 LIB CFP 計算規則)、CDV 審議し CDV2 へ。

【事業計画】IEC 63369-1、CDV2 審議し開発開始から5年経過するまでに FDIS 移行へ。IEC 63369-2(適用例)、IEC 63369-3(国別パラメータ設定)開発着手。

1.技術委員会対応の活動報告

- ① BASC 主催 ISO/TC333 国内委員会対応
 - ・国内委員会からのコメント募集に対応。
 - ・Lithium Vocabulary に関する BAJ から提出したコメントが反映された。
 - ・塩化リチウムの不純物を分析する機関の募集があったが、BAJ から参加企業はなし。

② 108 委員会対応

- ・IEC 62368-1(オーディオ/ビデオ機器、情報及び通信技術機器の安全)にて、コイン/ボタン電池を含む機器の指示セーフガードを、取説に「製品を開けないでください」等の記載をすれば、指示セーフガードを不要とする提案がなされたが受け入れられず、継続審議。

2.技術委員会における審議事項

- ・2025 年度の技術委員会委員長・副委員長、TC108 委員、ISO/TC333 委員の担当会社が確認された。
- ・国際会議参加などの活動見込みがない SC21A エキスパート 5 名の登録削除が承認された。

◆国際電池規格委員会

【事業報告】IEC 62133-2(小型リチウム二次安全)は日本から 100 件以上のコメントを提出し CD 審議終了。IEC 62620(産業用リチウム二次性能)は SOH、Durability の定量化の新しい取組を実施。IEC 63056(ESS 用リチウム二次安全)は日本から 100 件以上のコメントを提出。IEC 61951-1、-2(小型ニッケル系二次性能)、IEC 63115-1、-2(産業用 NiMH 性能、安全)はいずれも日本が PL を獲得し改訂中。IEC 63369-1(産業用 LIB CFP)は 800 件以上のコメント審議終了。ISO/TC333(Li 資源)では中国が自国に有利な LIB 正極材の CFP 計算規格案を出しており注意必要。総括として、IS 発行 4 件、日本メーカーが不利になる規格はなし、エキスパート強化の取組を開始。

【事業計画】既存規格の改訂、長期開発規格(IEC63369-1,IEC62133-2)の審議終結、ナトリウムイオン電池、アプリケーション別、リユース・リサイクルなど新規規格対応、新エキスパートの早期戦力化に取り組む。

◆国際電池輸送委員会

【事業報告】

- 1.2027 年 1 月 1 日発効の国連モデル規則の改訂審議に参加、電池業界に大きな影響を与える変更はなく、マイナーな修正または明確化を目的とする変更であり、合意できなかった提案は継続審議となった。また、リチウム電池を危険物のハザードで区分する方法を検討するインフォーマル WG に参加しているが、継続議論中。熱暴走しない全固体リチウム電池もこの WG で検討。
2. ICAO 会議では多くの提案は継続審議となり、電池に大きな影響はなかった。ICAO の委託を受けた SAE G-27 で円筒形に限定した新包装基準の基準書と補足書が完成し、その使い方が議論されたが、円筒形以外の適用範囲拡大を含め具体的な方針は示されなかった。全固体リチウム電池の輸送要件緩和についての考え方を説明し参加者から肯定的な反応を得ることができた。
3. リチウム金属電池およびリチウムイオン電池

の輸送に関する手引書 第 12 版を発刊。

【事業計画】

1. 国連会議年 2 回、インフォーマル WG に参加して継続対応。
2. ICAO 会議に年 2 回参加して、次版の規則に反映される提案を検討審議。SAE G-27 会議(対面、毎月定例)に継続参加。
3. 全固体リチウム電池の輸送規制緩和のためのデータ収集、関係者への説明を行い、国際会議での提案を継続する。

◆普及促進委員会

1. 普及促進委員会

【事業報告】

1. 蓄電池産業戦略の対象である車載/定置用 LIB にニッケル水素電池、鉛蓄電池も対象に加え、国内電池産業支援、資源リサイクル推進について政府提言書を作成した。2 月下旬～3 月上旬に経産省電池産業課に提出予定。
2. 中国黒鉛を含めた部素材の調達先が特定国に依存する調査結果を共有し、個社から経産省に依頼して支援いただくことになった。
3. バッテリー議連で、家庭用、系統用蓄電池の説明を行い、補助金要件見直し、粗悪品排除、サイバーセキュリティ対策、蓄電池システムの価格差を埋めるための支援を要望した。

【事業計画】

1. 経産省電池産業課、関連各省庁とも連携を図りながら、提言内容の実現と蓄電池産業戦略推進会議の活動を主とした国内蓄電池産業の将来を見据えた課題解決に向け、提言活動を推進する。
2. 定置用 LIB 普及強化 WG

【事業報告】

1. NITE と共同で日本製 LIB 優位性の定量的評価に向けた活動として、三元系海外製蓄電システムの類焼試験、単セル低温サイクル試験を実施して安全性評価を推進。
2. 資源エネルギー庁主催の定置用蓄電システム普及拡大検討会にて、オブザーバー参加。定置用蓄電池強化に向けた電池工業会の取組と課題を報告した。普及拡大に向けた

課題整理とその解決に向けたアイデアが提示される予定。

- 3.蓄電池産業戦略推進会議で規格、安全、消防法に関する定置用蓄電池強化に向けた電池工業会の取組を報告した。2030年代半ばを見据えた戦略目標、取組の見直しが行われる予定。

【事業計画】

- 1.経産省と意見交換を行い、補助金要件の新規採用基準、強化を図っていく。
- 2.日本製 LIB 勝ち筋に向けた安全性評価について、試験方法、計画の策定、NITE との共同試験を進める。2026 年度までに高い安全性が適正評価される基準を作る予定。

3. 法規 WG

【事業報告】

- 1.リチウムイオン蓄電池に係る危険物規制に関する検討会の報告書内容確認、及び消防危第 303 号(全部改正 消防危第 200 号)に関する要望整理を実施。消防庁連絡会議でリチウムイオン蓄電池の構造やモノづくりの基礎に関しての講演を実施し、消防関係者の理解を深めた。

【事業計画】

- 1.消防危第 303 号、消防危第 351 号(リチウムイオン蓄電池を取り扱う工場等に係る特例の適用について)、消防危第 352 号(耐火性収納箱を用いたリチウムイオン蓄電池の荷さばき作業に係る運用について)の課題を抽出し、BASC とも連携して各規定が規制緩和となるよう、消防庁へ働きかけを行っていく。

◆PL 委員会

【事業報告】

- 1.民生用小型二次電池および産業用リチウム二次電池の安全確保のための表示ガイドライン 第 7 版を発刊。
- 2.BAJ HP 電池の正しい使い方の内容見直しを検討。
- 3.モバイルバッテリー、スマートフォン、ノートパソコン、電動アシスト自転車、クリーナー、ポータブル電源の事故情報を収集。事故原因の

解析と考察および事故低減に向けた課題とアクションを検討。

【事業計画】

- 1.NITE・消費者庁の事故情報分析ならびに関連省庁に対する事故低減のための課題とアクションの整理と報告。
- 2.BAJ HP に掲載している電池の正しい使い方、非純正、模倣、改造電池への対応の内容更新。

◆再資源化委員会

【事業報告】

- 1.資源有効利用促進法改正の動向注視。
- 2.リチウム蓄電池等適正処理対策に係る検討会、リチウム蓄電池に起因した発煙・発火事故低減に係る事業者等検討会に参加。
- 3.回収できない充電式電池への方策として、BAJ HP 小型充電式電池のリサイクルの内容見直しを実施。

【事業計画】

- 1.小型充電式、定置用、産業用、車載用電池の回収・リサイクルに関する動向調査、充電式電池の回収・再資源化の政府・業界対応を継続。
- 2.資源法の改正動向注視(別表第四：指定再利用促進製品、第五：指定表示製品、第六：指定再資源化製品、第八：指定再資源化製品を部品として使用する製品)。
- 3.小型充電式電池の識別表示ガイドラインの改定に向けた検討。

◆広報総合委員会

二次電池部会資料参照

◆国際環境規制総合委員会

1.地域環境情報

(1) 欧州

- ・2025 年 1 月 22 日の EU 官報で包装規則が公布され、2026 年 8 月 12 日から適用される。

(2) 北米

- ・南アフリカは拡大生産者責任(EPR)に関する規則を改正する通知を 2024 年 11 月 6 日、EPR 規則改正案を 2024 年 11 月 7 日、及び EPR 料金を決定するためのガイドライン

及びツールキットを 2024 年 11 月 11 日に発行した。

(3) 中南米

・ブラジル環境及び再生可能資源院は、金属水銀の輸入、輸出、販売、輸送、リサイクル、使用、処分の規則を公布した。附属書 I には、水俣条約に基づき、水銀含有量 2%未満の酸化銀ボタン電池、空気亜鉛ボタン電池は、2025 年までに廃絶することなどが記載されている。

(4) アジア

・台湾環境部は、セル重量 1kg 以上のリチウムイオン電池を回収必須電池に追加。改正公告は 2025 年 7 月 1 日より施行される。
・韓国の残留性汚染物質の種類及び特定免除に関する規定の一部が改正され、現在、適用除外されている水銀含有量が 2%未満のボタン型酸化亜鉛銀電池および水銀含有量が 2%未満のボタン型空気亜鉛電池が 2026 年から規制される。

【事業報告】

- 1.世界の電池環境規制の状況 第 13 版を発行。
- 2.ICBR(国際電池リサイクル会議)、TWG+(日欧米電池専門会議)国際会議に参加。
- 3.各国最新環境動向レポートを委員会参加会社に配信、非英国圏の重要法令の和訳委託の活用。

【事業計画】

- 1.世界の電池環境規制の状況を継続フォロー。
- 2.ICBR@スペイン(国際電池リサイクル会議 9 月)、TWG+@メキシコ(日欧米電池専門会議 11 月)の国際会議に参加予定。
- 3.各国最新環境動向レポート配信、非英国圏の重要法令の和訳委託の活用を継続実施。

4. 2025 年度部会組織及び理事会資料

◇部会組織案

国際規格委員会傘下のIEEE-WG、中国電池規格WG、インド二次電池規制規格WGを廃止。

◇予算案（理事会審議資料）

2025 年度予算案 28,180 千円(2024 年度見込比 5,460 千円増)

・3月7日理事会で部会長から説明を行い、審議頂く。

5. JBRC 報告

以下について報告があった。

I. 会員状況

II. 回収状況

III. 具体的施策実施内容

6. その他審議事項

1) 蓄電池の普及促進に関する提言書

⇒ 承認

・国内電池産業支援として、GHG 部材調達支援、設備投資支援、カーボンニュートラル税制維持・拡大、低 CFP 蓄電池支援を依頼する。
・資源リサイクル推進として、使用済み電池の再資源化体制構築、低 CFP 再生材使用促進、ブラックマス・HEV 中古車・使用済み鉛の海外流出への対策支援を依頼する。

2) BAJ HP 更新 二次電池の再利用について

⇒ 承認

・更新する HP の構成ならびにリユース・リパーパスを行う製造者が特に注意しなければならない点について報告された。記載内容については BAJ 顧問弁護士に確認依頼中(主に PL 法)で、関係団体にも更新前に確認を予定している。

7. 事務局報告

・経産省電池産業室から蓄電池の安定供給確保の公募が案内された。公募期間は 1/27(月)~3/21(金)。

・2025 年度二次電池第 2 部会開催予定 6/5(木)、9/11(木)、12/4(木)、2/5(木) 対面開催。

以上

「電池月間 PR キャンペーン」「でんち川柳コンテスト」結果発表

2024 年度「電池月間」を PR するキャンペーンを実施。キャンペーン期間中は、ホームページや雑誌等で広く内容告知した結果、全国各地より多数の応募があった。

「電池月間 PR キャンペーン」

2024 年度「電池月間」を PR するクイズキャンペーンを 2024 年 11 月～12 月にかけて実施。キャンペーン期間中は、ホームページや雑誌で広く内容を告知した結果多数の応募がありました。

キャンペーン広告は、「安全で正しい電池の使い方」、「電池を使い終わったら」とし、誤った使い方や廃棄による事故防止の注意を喚起しました。

「電池月間」を問うクイズには、9,810 名様とたくさんのご応募をいただき、ありがとうございました。

抽選の結果、5 万円分の JCB ギフトカードを 5 名様に、1,000 円分の QUO カードを 100 名様が当選され、賞品の発送をもって終了となりました。



「でんち川柳コンテスト」受賞作発表

電池への関心、親しみを感じていただく機会として、今年度も「でんち川柳コンテスト」を開催しました。9 月から 12 月にかけて作品募集し、2,350 名様と多くのご応募をいただきました。

様々なテーマを取り上げていただき、電池がいろいろな場面で皆様の生活にお役に立っていること、皆様に親しみを抱いていただいていることを感じることができました。審査結果をここに発表させていただきます。



2024年度 でんち川柳コンテスト 受賞作品

賞	部門	ペンネーム	作品
コンテスト川柳賞	小中学生	米田博英	電池には 電気と安心 詰まってる
	高校生・一般	藤井信三	バッテリー 社会を支える 黒子たち
	高校生・一般	ピーコック	もう安心! 誤飲を防ぐ パッケージ
電池工業会賞	小中学生	みっくん	充電池 協力店で リサイクル
		うさちゃん	かんでんち かんしゃをこめて リサイクル
		わー	理科の授業 知って納得 電池の仕組み
		でんでんむし	防災に 電池備えて 安心を
		リョウタロウはかせ	うそだらう! レモンがでんちに なるなんて!
		村山 優日	電池切れ ぼくは時計と 朝ねぼう
		とがしへいじ	ぼうさいじ 電池のちからが ぼくらをすくう
		けいてい	気をつけよう 電池の液漏れ 触らない
		おさっちゃん	ちっばけな カラダに秘める エネルギー
		ドドリアさん	円筒形 角・平・ボタン 多様性
	高校生・一般	丸倶	回収へ 絶縁テープ 貼ってから
		三太夫	多種多様 今や電池は ライフライン
		木乃伊	光る君新人同士のバッテリー
		浜口 直樹	乾電池 備えがあれば 憂いなし
		マコッチャン	次世代は 電池が宇宙を チャージする
		たまのいわし	猛暑日は 空調服が 命綱
		岡崎佐紅	ふくれるぞ電池も人も放置すな
		でんち丸	夢ロマン 電池で空を 飛ぶ未来
		そうきんぐの母	クルマだけ? いえいえ、家にも! バッテリー
		サキ	長もち術 使わぬときは 抜いておく
		みゆごん	電池なし 考えられない マイライフ
		穂松つばめ	「動かない!」 「逆!」の言葉に 照れ笑い
		とも蔵	コンサート 光の数だけ ある電池
		無音の音楽	乾電池 忘れた時に 君恋し
		ツルピカ冗談	買い溜めは 水と食料 乾電池
		さごじょう	プラマイが あるよ電池も 人生も
		ガンバッテリー	電池さえ 高温多湿 苦手です
らっこ	日々の二次 非常の一次 バッテリー		
花東シエマ	ありがとう 戻ってきてね リサイクル		
でんこちゃん	「切れた」より 「消えた」が困る 世の電池		

2025年1月度の電池工業会活動概要

部会	月度開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項
議特、別他会	24日(金)	広報総合委員会	25年度 でんちフェスタ会場候補検討他
	24日(金)	国際環境規制総合委員会	地域別アップデート、来年度事業計画
二次電池部会	8日(水)	充電器分科会	JIS C 4402 浮動充電用サイリスタ整流装置の改正審議 他
	9日(木)	自動車鉛分科会	IEC 600095-8 規格案審議
	9日(木)	産電技術サービス分科会	リーフレット_IPS/TS-006aの改定について
	14日(火)	用語分科会	SBA S 0402「鉛蓄電池用セパレーター」様式審査
	17日(金)	技術委員会	24年度活動状況報告、25年度活動計画審議
	20日(月)	産電リサイクル委員会、広域認定分科会	広域331号変更申請準備、234号取り下げ準備
	24日(金)	環境委員会	欧州電池規則対応状況すり合わせ、SDSガイドライン改訂審議
	27日(月)	据置鉛分科会	SBA S 0601 据置鉛蓄電池の容量算出法 改正審議
二次電池第2部会	15日(水)	CFP規格分科会	産業用LIBのカーボンフットプリント規格対応
	15日(水)	法規WG	蓄電池の規制適正化検討
	15日(水)	小型全固体LIB輸送WG	小型全固体LIBの輸送規制に関する検討
	15日(水)	LIB安全性技術WG	内部短絡試験に関する技術検討
	16日(木)	リチウム二次分科会	IEC62133-2 ED2進捗共有
	17日(金)	定置用LIB普及強化WG	蓄電池の普及強化に向けた戦略実現検討
	17日(金)	再資源化委員会	蓄電池再資源化に関する対応
	17日(金)	リユース規格分科会-リユース・リサイクルTF合同会議	リユース規格に関する審議
	17日(金)	国際電池輸送委員会	危険物輸送の国際会議に関する対応
	20日(月)	蓄電システムWG	公共建築工事・改修工事標準仕様書／設備工事標準図改訂検討
	22日(水)	普及促進委員会	蓄電池の普及促進に関する提言検討
	22日(水)	定置用LIB普及強化WG	蓄電池の普及強化に向けた戦略実現検討
	23日(木)	据置LIB分科会	産業用LIBのIEC規格対応
	23日(木)	ニカド・ニッケル水素分科会	ニカド・ニッケル水素電池 性能規格の改訂審議
	24日(金)	PL委員会	安全啓蒙施策、事故情報集計
	27日(月)	国際電池規格委員会	IEC規格、ANSI規格等の審議対応
29日(水)	技術委員会	技術全般に係る審議事項への対応	
一次電池部会	15日(水)	器具委員会	BAJ規格「SBA S 1601 携帯電灯」の校正確認
	16日(木)	消費者委員会	災害発生時の支援物資 供給対応
	17日(金)	PL委員会	PL関連の情報共有、安全啓蒙に関する審議
	17日(金)	ボタン電池回収推進委員会	来年度の事業計画他
	23日(木)	資材委員会	原材料の需給・価格動向の分析
	28日(火)	コイン形リチウム二次分科会	IEC 61960-4/AMD1 ED2審議
	29日(火)	規格委員会	JIS C8513、IEC60086-1,-2-1,-2-2,86-5,MT17,JMT18審議
	30日(火)	規格委員会	TR60086-7審議
	31日(火)	技術委員会	国際幹事、規格委員会、コイン形リチウム二次分科会からの報告、25年度予算、業務計画報告

11 月度電池販売実績（経済産業省機械統計）

（2024年 11月）

（少数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2011年1月より経済産業省の機械統計は「マンガン乾電池」を「その他の乾電池」に統合されました。

2011年1月より経済産業省の機械統計が「その他の鉛蓄電池」に「小形制御弁式」が含まれました。

2009年12月より経済産業省の機械統計が「その他のアルカリ蓄電池」に「完全密閉式」が含まれました。

「その他の鉛蓄電池」は「二輪自動車用」、「小形制御弁式」を含む。

（2011年～2012年は経済産業省機械統計の「酸化銀電池」は「その他の乾電池」を含む）

2012年より経済産業省の機械統計が「リチウムイオン蓄電池」は「車載用」が新設されました。

（2011年までの「リチウムイオン蓄電池」には「車載用」は含まれていません）

「その他の乾電池」を削除する。（2013年経済産業省機械統計より）

2017年9月より経済産業省機械統計のアルカリ乾電池「単三」「単四」は公開されていません。

2022年1月より経済産業省の機械統計は「その他のアルカリマンガン乾電池」は「アルカリ乾電池計」に統合されました。

2022年7月より経済産業省の機械統計は「アルカリ蓄電池(ニッケル・水素電池)」「その他のアルカリ蓄電池」は「アルカリ蓄電池計」に統合されました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計	331,921	127,880	98%	91%	3,531,656	1,411,038	95%	100%
一次電池計	239,837	10,412	105%	100%	2,395,333	102,656	104%	105%
酸化銀電池	55,553	1,825	94%	91%	599,131	18,599	103%	113%
アルカリ乾電池計	112,500	4,768	107%	104%	1,040,518	42,218	101%	101%
単 三	-	-	-	-	-	-	-	-
単 四	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-
リチウム電池	71,784	3,819	112%	99%	755,684	41,839	110%	105%
二次電池計	92,084	117,468	82%	90%	1,136,323	1,308,382	81%	100%
鉛電池計	2,828	23,229	98%	105%	26,046	207,161	99%	107%
自動車用	2,227	15,342	97%	102%	20,119	134,460	99%	106%
その他の鉛蓄電池	601	7,887	102%	111%	5,927	72,701	98%	109%
アルカリ蓄電池計	36,595	23,589	101%	75%	346,631	311,420	92%	109%
ニッケル水素	-	-	-	-	-	-	-	-
その他のアルカリ蓄電池	-	-	-	-	-	-	-	-
リチウムイオン蓄電池計	52,661	70,650	73%	92%	763,646	789,801	77%	95%
車載用	30,755	56,493	61%	90%	521,633	638,078	65%	88%
その他	21,906	14,157	100%	105%	242,013	151,723	127%	141%

11 月度電池輸出入実績（財務省貿易統計）

（2024年 11月）

（少数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2012年より二次電池の輸入項目「その他の二次」が「ニッケル水素」「リチウムイオン」「その他の二次」に分かれました。

2016年より一次電池の輸入項目「アルカリ」が「アルカリボタン」「アルカリその他」に分かれました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計（輸出）	158,744	63,911	109%	106%	1,816,607	721,899	94%	110%
一次電池計	106,624	3,777	132%	110%	1,065,570	39,061	110%	116%
マンガン	12	0	-	-	170	6	-	-
アルカリ	14,676	334	230%	229%	110,753	2,744	101%	121%
酸化銀	53,399	1,522	125%	104%	532,976	15,158	116%	125%
リチウム	38,537	1,902	121%	110%	421,669	20,751	106%	109%
空気亜鉛	0	0	-	-	0	3	0%	31%
その他の一次	0	19	189%	22%	1	398	300%	129%
二次電池計	52,120	60,134	80%	106%	751,037	682,838	78%	110%
鉛蓄電池	164	1,365	116%	111%	1,539	13,520	116%	119%
ニカド	155	94	60%	125%	1,956	754	79%	90%
ニッケル鉄	0	0	-	-	0	0	-	-
ニッケル水素	10,765	14,782	97%	100%	119,469	156,909	124%	120%
リチウムイオン	29,226	38,681	65%	122%	514,731	451,681	65%	116%
その他の二次	11,809	5,212	132%	58%	113,341	59,975	153%	69%
全電池合計（輸入）	146,980	47,545	104%	73%	1,371,754	512,088	101%	100%
一次電池計	138,878	2,916	104%	106%	1,286,475	28,226	101%	110%
マンガン	7,827	154	62%	71%	85,326	1,477	81%	83%
アルカリボタン	2,509	21	84%	52%	26,188	266	93%	97%
アルカリその他	111,155	1,858	110%	111%	984,785	16,019	101%	105%
酸化銀	206	12	96%	105%	1,828	93	95%	117%
リチウム	13,702	789	116%	111%	134,012	7,407	123%	111%
空気亜鉛	3,475	73	68%	91%	54,267	1,098	112%	99%
その他の一次	4	10	6085%	42%	69	1,866	305%	335%
二次電池計	8,102	44,628	105%	71%	85,279	483,862	104%	99%
鉛蓄電池	842	5,046	103%	97%	8,959	54,689	106%	109%
ニカド	50	138	165%	47%	724	2,277	131%	102%
ニッケル鉄	0	0	-	-	0	0	-	-
ニッケル水素	1,945	424	104%	105%	20,005	4,323	102%	91%
リチウムイオン	5,201	36,051	106%	74%	55,411	356,559	104%	97%
その他の二次	64	2,969	88%	37%	180	66,014	43%	104%